

11・7(いいな)！小春日和に

KOBE ANIMAL KINGDOM
神戸どうぶつ王国

へお出かけ



さ・わ・や・か



数年ぶりに訪れたポートアイランド。目的地に選んだそのレジャースポットは「神戸どうぶつ王国」と名を変え、バージョンアップされていました。

10月末から冷え込む日が増え、一気に寒い季節へ突入か？と冬支度を始めた11月7日(火)。秋晴れ・温暖と絶好の行楽日和に恵まれました。うおずみ6・7・8丁目から9名の御一行様を乗せた2台のトヨタ・ハイエースは、第二神明から阪神高速でしばし渋滞に付き合った後、神戸大橋を渡り、約70分かけて目的地へ。皆様車酔いもなく元気・元気！

予約していた名物「ふくろう弁当」を、豊富な植物大パノラマの中で食べ、いざ、アニマルたちのスペースへ。

インサイドパークにはリクガメやビーバーに、こんにちは！アウトサイドパークへ出てカンガルーやアルパカ、そして遠足に来ていた園児たちを見て目の保養を。よく歩いたご褒美に、ソフトクリームで乾杯。まだまだ遊んでいたいけど、あっという間に時間です。翌日には「昨日は楽しかった。ありがとう」とお声をかけていただきました。11・7(いいな)！



▲屋内外で色々な動物とふれあいました ㊤ドッグショーではこんなシーンも



the Decade
★
うおずみの十年
十年勤続者が語る



2017

今年開設10周年。振り返ってみるとあっという間の10年でした。病院からの異動で初めての施設勤務。いまだに利用者様への対応は「これでいいのか？」「これでよかったのか？」と葛藤する日々が続いています。たくさんの利用者様とのお別れもありました。「ああしていたら」「こうしていたら」と思い悩むこともまだまだ同じ。ですが、うおずみで最期を迎えられた利用者様のご家族から「うおずみでよかった」というお言葉や、お手紙を頂くことも増えてきました。施設看護師として最高の言葉だと嬉しく思っています。

しかし、まだまだ問題は山積み。今後も慢心することなく、少しでも利用者様に穏やかな毎日を送っていただけるよう鋭意努力を続けていきたいと思っています。施設で見かけたときには気軽に声を掛けていただき、利用者様の健康状態などをお伝えできたらと思っています。これからもよろしくお願い致します。 《西海 由里子》



2008



仕事帰り。冷える家路に赤ちようちんでちよいと一杯。その肴には…もちろん、おでん！熱燗をキュ〜ッとあけて、火傷するほど熱い大根をかじれば、おお



酒

うまい！

〜、四季ある国に生まれてよかったとホッとしますね。11月27日(月)のランチは、ちくわ・玉子・大根・じゃがいも・厚揚げ…代表的なラインナップで揃えました。紅に染まったほっぺは酔ったから？温もったから？それとも惚れてるの？うふふ…



めにゅう カミングスーン！

- 12/13 《ご当地フェア・石川県》 味噌チキンカツ丼
- 12/14 《パスタ★スペシャル》 ミート・スパゲティ
- 12/15 《もちつき》 おやつ: ぜんざい (やわらか福餅入り)



【誕生日】 4月15日

3丁目介護職員 水本 理恵

【趣味(というか…マイブーム)】 長女(愛犬・8ヶ月)をからかって遊ぶ(ティッシュでこよりを作って鼻の穴に入れる)

【ひと言】 デイサービスから来たので最初オムツ替えや移乗が出来なかったのですが、先輩方に指導していただき、少しはスムーズに出来る様になりました。まだまだ勉強し、介護の技術力を身につけていきたいと思ひます。宜しくお願いします。



スタッフ 数珠つなぎ

112



3・10 (さと) 食欲の秋、外食 でリフレッシュ！

●真冬の寒気に包まれた11月21日(火)、大久保「和食さと」でランチしました。ふだんはあまり味わえない、寿司やうどん、天ぷらなどの和食を目の前にしてエキサイティング！少食のご婦人も辛口の紳士もおなかいっぱい召し上がり、しめには色とりどり豪華なパフェをペロリ。大満足の外食タイムでした。道中はきれいな青空を眺めて…リフレッシュできたおかげで、冬支度もバッチリです。



◆ ◆ ◆ これからのうおずみ ◆ ◆ ◆

- 12月15日(金) 《もちつき&和太鼓》 13:45~(デ)
 - 20日(水) 《日本理美容福祉協会》 訪問理美容サービス
 - 26日(火) 《うおずみ大学/ペン習字講座》 13:45~(地)
 - 29日(金) 《デイサービス忘年会》 午後~(デ)
 - 1月15日(月) 《青葉台混声合唱団 LIVE》 13:45~(地)
- ※家族様ご参加型のクリスマス会は、感染対策の一環として、今年では中止とさせていただきます。



編集後記

老年(65歳以上)人口が年少(15歳以下)人口の倍以上暮らす、超高齢社会の我が国。うおずみで、ボランティアとしてお世話になったある方が認知症に罹り施設で生活されていると聞き、訪問しました。目が合って第一声が私の名。「涙が出る」と言って迎えていただけました。安堵したのも束の間、上品な風貌も変わりなく社会性も保っておられとてもお元気なのですが、お話しているとやはり以前とは違う…面会中何度も口にされた「帰りたい」という想い。何とか今までのように在宅生活ができないか、まだ認知症は進行していくのだろうか等々、葛藤しながら辞去したのでした。女性の場合、健康寿命と平均寿命の差は平均13年だそうです。その間を支える担い手の出生が減少するばかりでなく、経済的不安が払拭できず共稼ぎ世帯が減らないため、やはり介護サービスに頼らざるを得ないのが現状なのです。この年度末は介護保険が改正されます。さて、ハッピーなものになるのか、そうではないのか？全ての人がいつまでも自分らしく生きられる社会をつくりたい…面会の後、その方が歩んでこられた道のりと今後の人生について想いを馳せていました。



ご入居十周年第一号の一丁目岩崎千恵子様を表彰



Congratulations!



Merry Christmas & A Happy New Year!